ブリーフカウンセリング入門

担当者	宇田 光（南山大学総合政策学部教授） 中川貴嗣（臨床心理士）
概要	不登校やいじめなど、学校で子どもたちは様々な問題に直面します。そんななかで、スクールカウンセリングが注目されています。しかし、あわただしい学校では、じっくりと悩みを聴いていく伝統的なカウンセリングを用いることは困難です。より短期的な対処を前提として取り組む方法が、学校現場では切望されていると言えるでしょう。 ブリーフカウンセリングとは、短期的な解決を前提とするカウンセリングです。従来のセラピーやカウンセリングと比べて、学校現場の制約のもとで、より現実的な対処をしようとする方法なのです。 中でも、現在注目されている解決志向アプローチは、問題そのものを扱いません。問題の例外やうまくいっている部分に焦点を当てて、解決そのものを直接創り上げます。問題を直接的に扱わないために、①より安全な対処が可能（悪化する危険性が少ない）であること、②負担感が少なく済むこと③比較的単純なため習得しやすい方法であること、などの特徴を備えています。 この講座では、ブリーフカウンセリング（特に解決志向アプローチ）の基本的な考え方や技法を学びます。小グループでの実践的な演習を中心とする２日間の「短期」集中型講座です。学校の教職員の方々、カウンセリングに関心をお持ちの方々などにお勧めします。 ＜主な内容＞ ・本人自身が具体的な目標をたてる ・スケーリングクエスチョンを用いて未来の姿を明確化する ・問題の例外を探る ・不登校への対応など
日程	2007年7月28日（土）、7月29日（日）10:00～17:00
定員	24名
会場	南山大学　D棟
受講料	14,400円
講座報告 （アンケートより）	・仕事の面で役に立つかもしれないと思って参加したが、それだけでなく、物事を前向きに捉えていくやり方は家族や友人とのコミュニケーションなどさまざまな場面で有効であると思いました。 ・これまで生徒との面談で単純な展開しかできず、時として追い詰めるような発言をしてしまうこともありましたが今回の研修会で実際に使えるテクニック(技法)をいろいろ教えていただけたのが良かったと思います。現場で活動していきたいと思います。 ・実際に演習に何回も取り組むことで、いろんなパターンを体感でき、それぞれの意味や難しさ、課題なんかを考えられた。